

第4回公文書管理セミナー 2015

東日本大震災から4年、現用、非現用、歴史的公文書をはじめとした公文書の保存の重要性は高まり続けています。また、昨今では郷土資料・貴重資料のデジタルアーカイブによる長期保存・長期利用を見越した動きも活発化しています。第4回目となる本セミナーでは、「現用文書の管理」「歴史的価値のある資料のアーカイブ化」などをテーマにNTTデータグループの取り組みについてご紹介いたします。

開催概要

日時 平成27年5月25日(月) 14:30～17:30 (受付開始14:00)

会場 ベルサール飯田橋駅前 2F

〒135-0061 東京都千代田区飯田橋3-8-5 住友不動産飯田橋駅前ビル2F

※「飯田橋駅」A2出口徒歩2分(東京メトロ、都営地下鉄)

※「飯田橋駅」東口徒歩3分(JR線)

対象 地方公共団体および関連機関様

定員 50名 (参加無料)



プログラム

※都合により内容が変更される場合がございます。予めご了承ください。

14:30	開会のご挨拶	NTTデータカスタマサービス(株) 清水極
14:35 ～ 16:05	【講演1】システム化を見据えた公文書管理におけるルールの土台作り ～実運用からシステム化までトータルに考える～	【講師】(株)イトーキ ファイリング研究室 齊藤研祐 (株)NTTデータ四国 第一システム事業部 ソリューションビジネス推進担当 白井寛三
公文書管理における実運用とシステム化を分けてお考えではないでしょうか。実運用とシステム化を分けて考えると、運用にミスマッチが生じ、利用率が悪く、効果の少ないものとなってしまいがちです。本セミナーでは公文書管理におけるライフサイクルのルール化、電子化をトータルで考え、業務効率向上につなげるノウハウをまとめてご紹介いたします。		
休憩 (15分)		
16:20 ～ 16:50	【講演2】地域資産の提供・継承に貢献するデジタルアーカイブ化とは	【講師】フルライトスペース(株) 図書館コーディネーター 満尾哲広
自治体では、地域の人々や社会が作り出してきた様々な知的資産を将来に継承していくため、それらを電子化して保存する動きが高まっています。また、電子化された資料を、デジタルアーカイブとして現代の利用者に公開していくことは、博物館・美術館・図書館・公文書館(MLA機関)の大事な役割の一つであると考えます。本セミナーでは、デジタルアーカイブ事業を推進することの必要性について、様々な取り組みから考えてみます。		
16:50 ～ 17:30	【講演3】デジタルアーカイブサービス「AMLAD」のご紹介	【講師】(株)NTTデータ 公共システム事業本部 第三公共システム事業部 吉松あゆみ
NTTデータは、デジタルアーカイブを「文化的価値を持つ知的資産」と捉え、保存・公開という意義を持ち、利用者が公開されたコンテンツを活用して新しい発見をサポートするものだと考えています。本セミナーでは、デジタルアーカイブサービス「AMLAD」を利用し、MLA連携の仕組みを取り入れ、利用者サービス向上につなげている秋田県様の事例を紹介いたします。		

お申込み

セミナーお申込み専用フォーム <http://www.nttdatacs.co.jp/form/seminar0525.html> よりお申込ください。
ホームページ以外でお申込みを希望される場合は、下記事務局までご連絡をお願い致します。

NTTデータカスタマサービス(株) 営業本部 営業戦略部 セミナー受付グループ
TEL: 03-5690-2426 FAX: 03-5690-5421 E-mail: strategy@nttdatacs.co.jp